

(別添様式)


埼玉県環境SDGs取組宣言企業(一般社団法人埼玉県環境検査研究協会)取組報告

報告年月日 令和6年4月24日




1 企業等基本情報

所在地	埼玉県さいたま市大宮区上小町1450-11		
電話番号	048-649-5496	URL	http://www.saitama-kankyo.or.jp/
業種	74 技術サービス業(他に分類されないもの)	従業員数	126
事業内容	環境にかかる測定、分析及び調査・研究、水道事業の原水・浄水の検査、簡易専用水道に関する法定検査、浄化槽に関する法定検査、環境保全活動の普及啓発及び支援		

2 取組概要

NO	取組内容、成果、PRポイント	SDGsのゴール
1	【省エネ】 ・エコアクション21に基づき、環境経営計画・目標を策定し、省エネ型設備更新、クールビズ・ウォームビズの実施をはじめ、環境負荷低減のための省エネ対策の取組を行いました。 ・2022年度二酸化炭素排出量(売上当たり)は、0.412(kg-CO ₂ /千円)となり、基準年度(2020年度)比で8.09%の削減を達成しました。	  
2	【人材育成・環境学習】 ・環境問題の現況と将来を展望するセミナーを開催しています。第20回目となるセミナーは「生物多様性と現代社会」と題し、新型コロナウイルスとの根本的な繋がりがあると言われながら世間の関心が低い生物多様性の課題について、プレゼンテーションを通じて考えるものとなりました。 ・会場59名、全国各地からのオンラインで104名の合計163名と、多くの方々に参加いただきました。	
3	【水の管理:簡易専用水道】 ・水道検査課では、水道法第34条の2及び水道法施行規則第56条に基づく厚生労働大臣の登録検査機関として、簡易専用水道設備管理における法定検査を通して公衆衛生の維持・向上に努めています。 ・2022年度は、現場検査を6,995施設、書類検査を513施設実施しました。 ※建築物等の給水において、水道事業者から供給された水を一旦受水槽に受け、高置水槽等を利用して各階に給水するものうち、受水槽の有効容量が10立方メートルを超える施設は、水道法で簡易専用水道として規制の対象とされています。	
4	【水環境の保全:浄化槽】 ・浄化槽検査課では、浄化槽法第7条及び11条に基づく埼玉県知事指定検査機関として、県南、県西部区域の浄化槽法定検査を通して河川等の公共用水域の汚濁物質低減に努めています。 ・2022年度は、浄化槽法第7条検査を2,099基、浄化槽法第11条検査を41,508基実施しました。	 
5	【社会貢献活動】 ・美化活動として、毎月1回全従業員が参加し、施設周辺や周辺道路、近隣住宅を中心に清掃美化活動を実施しています。 ・社会人としての職業意識を在学中に高めることを目的に、大学生3名をインターンシップとして受け入れ就職活動が本格化する前の業界研究の一環として活用してもらいました。 ・郵便物の使用済み切手を回収し、「特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター」に寄付を行いました。年間累積で402gの使用済み切手を回収することができました。	 

3 他社の環境SDGsの取組に貢献する製品・サービス等

内容	SDGsのゴール
<p>【気候変動対策】環境技術実証事業</p> <p>・本事業は、既に適用可能な段階にありながら、環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境改善効果等を第三者が客観的に実証するものです。当協会は実証機関としてこれまでに有機性排水処理技術、湖沼等水質浄化技術、気候変動対策技術等の環境技術について、試験結果に基づく環境改善効果の第三者評価を行っています。</p> <p>・2022年度は「人工芝」を実証しました。</p> <p>この技術は、特殊捲縮加工されたパイル(人工芝葉)がゴムチップ等の充填材を覆い隠す構造となっているため、充填材に日射が届きづらく、充填材の温度上昇を抑制します。この効果により、人工芝フィールドの温度上昇を抑制することができ、ヒートアイランド対策に貢献できます。さらに、特殊捲縮加工されたパイルが充填材を覆う構造から、マイクロプラスチックによる環境汚染の一因ともいわれている充填材の流出抑制にも効果的な技術です。</p> <p>実証結果は環境省のホームページに掲載されています。是非ご覧ください。 環境省 ウェブサイト (実証結果・写真引用先) http://www.env.go.jp/policy/etv</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="199 795 534 1064"> <p>従来品</p> <p>充填材の飛散・流出 太陽光による温度上昇</p> <p>従来の直毛型人工芝の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏場の表面温度が高くなりやすい ・充填材がグラウンド外に流出しやすい ・経年によりパイルが倒れてプレー感が変わる </div> <div data-bbox="598 795 997 1064"> <p>MS CRAFT シリーズ</p> <p>パイルで充填材流出抑制 高日射反射パイル採用 充填材カバー型温度抑制構造</p> <p>MS CRAFT シリーズの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充填材の種類に関わらず、優れた温度抑制効果を発揮 ・充填材の飛散や降雨での流出を抑制 ・経年の形状変化が少ない </div> </div>	  

※自社の有する環境に配慮した製品・サービス・施工技術等で、他事業者がそれを利用することで、環境分野のSDGsの取組を進めることができるものがあれば、200字程度までで記載してください。(図表、写真も可)

※本様式をそのまま県ホームページに掲載